



## Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department  
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista  
São Paulo, SP – 01310-925

## 1. マーケット・レート

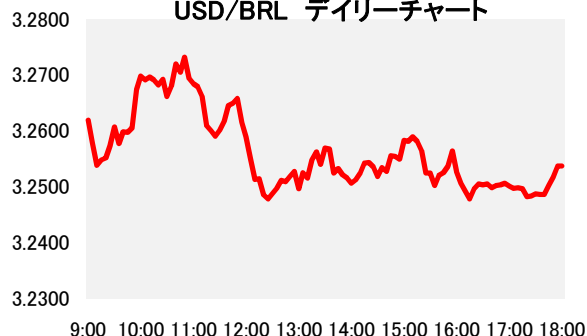
			7月12日	7月13日	7月14日	7月15日	7月18日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.2950	3.2640	3.2520	3.2800	3.2530	-0.0270
	BRL/JPY	Spot	31.77	31.99	32.39	31.99	32.63	+0.64
	EUR/USD	Spot	1.1061	1.1089	1.1119	1.1035	1.1076	+0.0041
	USD/JPY	Spot	104.73	104.47	105.35	104.88	106.18	+1.30
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	13.854	13.823	13.808	13.802	13.862	+0.060
	Future	1Year(p.a.)	13.205	13.157	13.124	13.168	13.172	+0.003
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.337	2.315	2.438	2.335	2.205	-0.130
	USD	1Year(p.a.)	2.488	2.623	2.672	2.539	2.615	+0.076
株式	Bovespa指数		54256	54598	55481	55578	56484	906
CDS	CDS Brazil 5y		295.28	293.56	293.46	294.86	291.26	-3.60
商品	CRB指数		190.228	188.589	190.096	188.858	188.194	-0.66

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

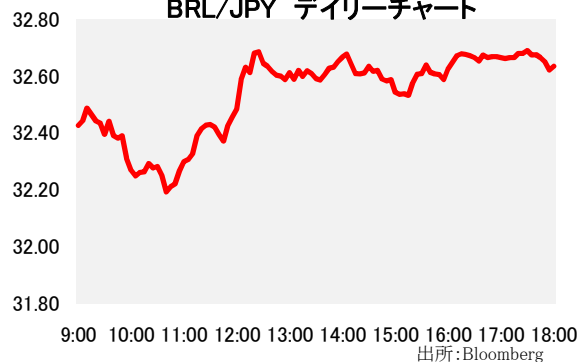
## 2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FGV CPI IPC-S	0.41%	0.41%	0.44%
貿易収支(週次)	--	\$1511m	\$1488m
(米)NAHB住宅市場指数	60	59	60
(米)ネットTIC700-合計	--	-\$11.0b	\$93.1b
(米)ネット長期TIC700-	--	-\$41.1b	-\$67.4b

USD/BRL デイリーチャート



BRL/JPY デイリーチャート



## 3. 要人コメント

伯経済チーム	本年の財政赤字を圧縮するために、少なくとも200億レアルの追加歳出削減を推進して行く
--------	--

## 4. トピックス

- 本日は先週トルコで起きたクーデターの試みが未遂で終わったことを受けて、リスク資産の買戻しが優勢となり、レアルは日中高値となる3.2820で寄り付いた後、3.25台前半まで急反発した。しかし伯中銀によるドル買い介入が実施されるとレアルは3.27台前半まで売り戻された。午後に入ると、レアルは再びリスクオンモードにつられて買いが優勢となり、3.2500付近で小幅に推移した後、本日の高値となる3.2460を付け、結局3.2530でクローズした。
- 複数の米企業の良好な決算を受けて、S&P500種株価指数は終値ベースで過去最高値を更新した。また、国内のボベスパ指数はヘルスケアやエネルギー銘柄の上昇を背景に約1.5%上昇した。
- 本日発表されたブラジル中銀によるアナリスト予想集計では、2016年の経済成長率予想が-3.30%から-3.25%に、2017年予想は+1.00%から+1.10%に上方修正された。また、2016年のインフレ率予想は7.26%に据え置かれ、2016年末の予想為替レートは3.40から3.39へレアル高方向に小幅修正された。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいませう、宜しくお願ひ申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。